



視界下方に 映し出される!

オンダッシュに設置されるスクリーンには、見やすさのためにさまざまな機能が搭載されている。アジャスト機能も設定され、取り付け位置によって表示が上辺と下辺で長さが違ってしまった場合に、それを補正することが可能。表示が不要のときには消去もできる。

#1 FID 近未来の 運転視界を この手に Front Information Display

ルート情報は窓越しに見る。 これからは、そんな時代!?

その近未来な情景に、来る未来を思い浮かべた人も多かっただろう。しかし、その未来は近未来に、そしていよいよ現実のものになろうとしている。スクリーン越しに、フロントガラスの先へと映るディスプレイ。純正採用に先駆け、今こそ我らの手に!

製品名は「フロントインフォデイスプレー CY-DF1000」。今号ではその概要を速報でお伝えしていく。

このシステムは主に、プロジェクト、マルチエクスバンドユニットの3点で構成され、ダッシュボード上に設置されたプロジェクトユニット、コンパインユニット、コンパインユニットに「右左折する交差点」や「インターチェンジの分岐情報」などの、必要な情報を映し出すというもの。

他社のHUDと大きく違うのは、スクリーンがフロントガラ

バナソニック品質の安心安全な心遣い

バナソニックがコンパインユニットにナビ情報を映し出す新たなシステムを発表した。それは10月下旬に発売になる。その時から近未来は今になる。そんな高揚感を禁じ得ない、大きな期待を抱かせる大注目モデルだ。

スの上部に設置されるのではなく、ダッシュボード上だという点だ。HUDも、ドライバーの視点移動距離を短くできることが一つのメリットだが、よくよく考えると、HUDとナビ画面の間では視点移動距離が長い。ダッシュボード上という位置は、運転視界とナビ画面の間。トータル視点移動距離は長くない。理にかなった位置設定と言えるだろう。

バナソニックがこの製品に込めた狙いは、「安心安全を重視した新しいカーライフスタイルの提案」。そのコンセプトが各所に首尾一貫して貫かれていて、この位置設定も、それを突き詰めた結果にはかならない。

表示する内容が、厳選された必要度の高い情報であること、そしてそれを直感的に理解しやすい形で伝えようとしている点も、「安心安全」を実現しようとする思いが貫かれている証だ。

細かな配慮も行き届いてい

秋冬前線、接近中! 用品戦線異状アリ

ブレークスルーの 斬新提案が 目白押し!

夏も一段落つくこの頃は、秋冬に登場する新製品のニュースが次から次と飛び込んでくる時期でもある。なかでも今年はビッグニュースが目白押しだ。既成概念にとらわれないバラエティや、今後をうらなう革新機、そして大幅にパワーアップした次世代モデルまで、注目の顔ぶれがずらりと並ぶ。巻頭企画にふさわしい、今を語る用品最前線を、ここで目撃だ!